

秋の講演会を開催しました

11月3日（金）、大阪市の大阪府社会福祉会館を会場に秋の講演会を開催しました。今年もたくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。熱気に包まれた大変有意義な講演会となりました。

みなさんから寄せいただいたアンケートから、感想を紹介させていただきます。

「聴覚障害教育におけるキャリア発達支援」

講師 筑波技術大学 副学長 石原 保志 先生

参加者の感想

- ・「キャリア教育」＝就労につなげるための教育で、仕事につなげるための力をどうやってつけるのかと捉えていたが、そうではなく、幼少期からの関わりから始まっているということが理解できた。幼・小・中・高でそれぞれの時期で必要になってくる関わりが見えてきたので、今後子どもたちとの生活の中で自分自身が意識していきたいと思った。
- ・石原先生のお話を伺うのは初めてでした。普段乳幼児や幼児に関わる人が多いので、キャリア教育についてじっくり考えることもなかったように思います。石原先生がお話しされていた通り、幼児期から子どもの将来像をイメージして教育していく、育てていくという視点が大切なんだと改めて感じました。そして聴覚障害児が自分自身を客観視できる力も育てていくことも大変重要だということも理解できました。たくさんの学びの視点をいただくことができました。ありがとうございました。
- ・私は小学部の教員をしているので、キャリア支援について正直そこまで考えずに日々の授業や行事でいっぱいになってしまいます。でも、今回講演を聞かせていただき、小学部のうちから日々の生活の中でもキャリア支援ができるのだと気づくことができました。「子どもが考える授業」を意識していきたいです。
- ・聴覚障害のある生徒のキャリア教育について様々な視点から気づくことがたくさんありました。ありがとうございました。他障害への理解体験が大切であるということや障害啓発の5番目の領域、障害啓発能力について、学校での取り組みの重要性を感じました。（補聴器を見たら周りが配慮してくれるだろうと考える生徒が多く、自分がどのように配慮してほしいのか、明確にできない生徒が多いと思うことができました。）



- ・キャリア教育というのは、高校生に限ったものではなく、幼少期から行っていく必要のあるものだということがよくわかりました。
- ・現在幼稚部で指導しているので、高校卒業後の社会、職業生活をイメージすることが難しいと感じていました。石原先生のお話をお聞きするなかで、キャリアマトリックスをもとに、たての系統性で考えていくことが手掛かりになると感じました。おっしゃっていたように、一人ひとりちがうものなので、実際子ども達に即して考え、教師同士の見方を共有していくことも有意義だと感じました。「障害啓発力」という力は、本当に不可欠だと感じます。自分にどのような配慮があれば、仕事が上手くいくのかを周りに伝えるには、いろいろなことが必要です。それらをひとつひとつ理解し、相手の立場に立って考え、伝える力を磨き、人間関係を育むことが大切だと考えさせられました。
- ・小さい時から意思決定をすること、自ら考えようとする習慣をつけることの大切さがわかりました。聾学校にいる子ども達だけでなく、地域の学校に通っている子どもも意思決定ができない子が増えていると感じます。大きな集団の中にいるのですが、みんなについていけない、自分の意思を表現しない子どもも多いです。地域の学校の先生方（きこえにくい子どもを担当する）にも、意思決定の大切さを伝えていきたいと思います。
- ・「教師の干渉し過ぎ」、は、はっとさせられる言葉でした。
- ・穏やかな語り口ながら、ポイントやキーワードをはっきりと示して頂き、分かりやすいお話でした。特に「心理的発達と就労レディネスへの発展」のお話は障害の有無にかかわらず、普遍性があるととらえました。また、言語指導と相反するものではないというお話に、勇気をいただきました。幼稚部に勤務していますが、「考える力を育てる」「待つ」を実践したいと思います。

感想の他にも、数多くのご意見や、改善案をいただきました。次年度以降の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

今後の予定

平成29年	12月上旬	冬の学習会の案内 機関紙61号 発行
平成30年	1月26日(金)	第3回代表委員会(和歌山県立和歌山ろう学校)
	1月27日(土)	冬の学習会(和歌山県 和歌山市勤労者総合センター) 「聴覚障害児の補聴と聴覚活用の意義 ー聴覚障害児の教育現場に求められているものー」 講師 横浜国立大学 教授 中川 辰男 先生
	3月下旬	集録第19号発行・機関誌62号発行

近畿教育オーディオロジー研究協議会事務局 事務局長 谷口 信恵

〒655-0013
兵庫県神戸市垂水区福田1-3-1
兵庫県立神戸聴覚特別支援学校内

TEL: 078-709-9301
FAX: 078-709-0371
メール: taniguchi-no@hyogo-c.ed.jp